

大雨や地震により地盤がゆるむと土砂災害が発生するおそれが高まります。危険箇所や前兆現象を確認し、危険を察知したら速やかに避難しましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。以下のような前兆現象に気づいたら、避難情報の発令を待たずに、速やかに安全な場所に避難することが大切です。

がけ崩れ発生



地面にしみ込んだ雨水により、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちる現象です。

！ 前兆現象 こんなときは要注意!



がけから小石が落ちてくる 斜面から水が湧き出る

土石流発生



山から崩れた土や石が、水と一緒に強い勢いで流れ下る現象です。

！ 前兆現象 こんなときは要注意!



川の水に異常な濁りが生じる 河川の水位が急に減少

地すべり発生



やや傾斜の緩い斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象です。

！ 前兆現象 こんなときは要注意!



山鳴りが聞こえる がけにひび割れが発生している

警戒区域の指定 ※「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

土砂災害から市民の生命を守るため、「土砂災害防止法※」に基づき、警戒区域が指定されています。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒情報に注意!

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生のおそれが高まったときに、十和田市が避難情報を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、気象庁と青森県が共同で発表する防災情報です。気象庁や青森県のホームページで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも確認できます。



土砂災害からの避難方法

原則として区域外へ避難

- 避難情報により示される指定避難所等や、土砂災害警戒区域等の外の安全な場所へ避難しましょう。
- がけの上に自宅がある場合などは、倒壊のおそれがあるため、区域外へ急いで避難しましょう。



区域外への避難が難しい場合は

- 近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難しましょう。
- がけから離れた2階の部屋など、家の中でより安全な場所に避難しましょう。

